

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年5月12日

所属・職名	サービス創造学部 教授	氏名	吉田 優治
研究課題	「サービス創造についての基礎概念、基礎理論の構築」		
研究キーワード	サービス創造、基礎概念、基礎理論、	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2019年度内に学術的研究成果については公開できなかった。2020年度の研究公開に向けてサービス創造の概念、理論の構築について準備作業を行ってきた。サービスもしくはサービス創造については限定されたテーマを検討する論文などは散見されるものの、学術的な議論に耐えうる概念や理論の構築は未だ行われていないのが現状であり、そうした状況において概念や理論を構築・公開するには研究者としての慎重さが求められる。2020年にはサービス創造についての体系的な概念や理論構築というより、サービス受容説、サービス無関心圏、公式サービス、非公式サービス、サービスの有効性と能率などについて限定的であるが研究領域で戦略的に意味のある学術的概念を公開したい。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>著作・論文・学会報告としての研究成果はなし。</p> <p>8月24・25日に関東学院大学金沢八景キャンパスで開催された全国ビジネス系大学教育会議主催「第36回全国研究会議」を同教育会議会長として企画運営した。総括研究テーマ「ビジネス系大学教育の挑戦」について研究報告総括を行った。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>参加予定計画していた2020年3月米国テキサス州オースティンで開催予定の全米教育会議SXSWEdu.は新型コロナウイルス感染拡大のため直前に中止になった。年初に予定していた個人研究費の渡航および参加費については、それまでに米国経営学会年会費、すでに購入していた研究書、情報機器(McBook Air)の購入に充当した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>なし</p>			